

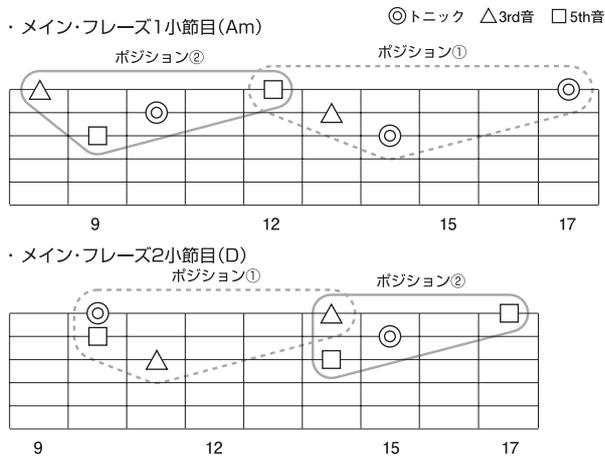
注意点1

理論

コード音を意識してポジションを覚えよう!

P.64と同様に、このメイン・フレーズでも1つのコードに対して2つのポジションを当てはめたトライアドを使用している。ただし、P.64のように“何弦に必ずこのコード音が入る”という規則性がないので注意しよう。1&2小節目を例に挙げると、3弦は1小節目のAmコードではルート音(14フレット)と5th音(9フレット)、2小節目のDコードでは3rd音(11フレット)と5th音(14フレット)になる(図1)。向上心の高い読者は、各小節ごとのコード音の位置を確認しながら練習してみてください。そうすることで、コード感を意識したプレイができるようになるだろう。

図1 メイン・フレーズ1&2小節目のポジション



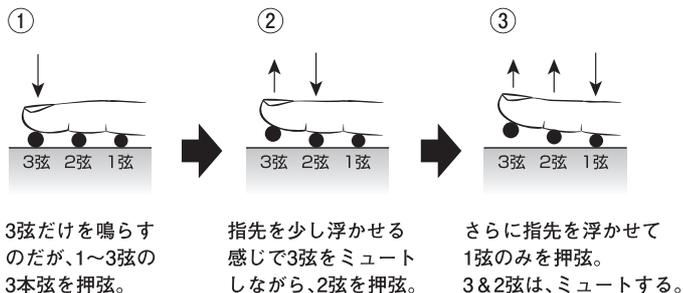
注意点2

左手

異弦同フレットのセーハはウェーブ運動で攻略せよ!

メイン・フレーズのような3本弦エコノミー・フレーズの大きな壁となるのが、異弦同フレットのセーハだ。1本指で同じフレットの弦を3本同時に押さえるが、1本ずつクリアに鳴らすエコノミーでは弾かない弦を鳴らしてはいけない。そのため、セーハをしながらも各弦の音をハッキリ鳴らすための1本指によるミュート移動をマスターする必要がある(図2)。第1&2関節をうまく上下運動【註】させて、弾きたい弦に重心を置く感じで波を作り、弾く弦とミュートする弦を移動していくと良いだろう。1音ずつしっかり発音できているのかチェックしながら練習してみてください。

図2 1本弦によるウェーブ押弦



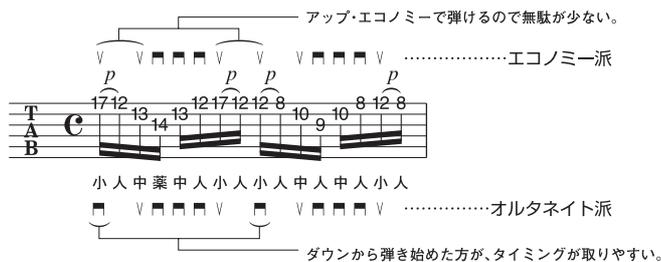
~コラム10~

教官の戯れ言

キミは、このメイン・フレーズをダウンとアップのどちらで弾き始めるのだろうか? 実は、これによってキミの性格が分かるのだ。ダウンの人は、素直で一度決めたことを貫き通すタイプ。一方、アップの人は、状況判断力があり、スマートな生き方を信条にしているタイプになる。これは半分冗談で(笑)、実際にはダウンの人はオルタネイト主体、アップの人はエコノミー主体と言えるだろう。前者は、オルタネイトに慣れているため弾き始めが常にダウンになり、後者はアップ・エコノミーで弾き始めたいのでアップになるのだ(図3)。弾き方は、どちらも正解なので、自分の好みで弾こう!

アップとダウン、どちらで弾き始める? 性格判断エコノミー・フレーズ

図3 ピッキングのスタート



【第1&2関節をうまく上下運動】エコノミーにおける異弦同フレットのセーハでは、指の関節のコントロールがポイントになる。この時、指全体を上下に動かしてしまうと、無駄な動きが増えるので注意しよう!